

ロシア2007を目指して！  
白い雪原に張り巡らされた  
ネットワークを征したのは  
またもやベテランだった。  
ローマは一日にして成らず  
2014年のオリンピック冬季  
大会登場？も聞こえてくる。  
オリエンティア夢のオリン  
ピアード第1号は誰？！

## ルスツ大会

3月4-5日、ルスツのスキーオリエン  
テリング北海道選手権大会。

例年、この大会は通常のクラス分け  
ではない。何故か大会要項も発表が遅  
れ、開催種目も不明で、スキーO委員  
会として2007年世界選手権選考にス  
プリントレースを指定していたので当事  
者として気が気でなかった。

ようやく要項が発表された。クラス  
はカテゴリA/B/C、種目はステー  
ジ1・2だ。責任者に確認してステー  
ジ1がスプリント、ステージ2がロン  
グと判明した。通常のクラスに該当す  
るカテゴリは男女の別がないので、発  
表された成績から男女別に区分する事  
になる。

クラス分けをカテゴリ、種目をステ  
ージの名称にこだわるのは運営上の都合  
なのか？

ルスツは世界選手権2009に内定して  
いることだし、競技運営も主力はこの  
大会運営者と予測するので、次回から  
クラス分けや種目をスキーO競技規則  
に準じた名称にする事を希望したい。

## スプリントを征したのは？

男子は、JOA理事会・総会を欠席  
して参加した元木悟（長野県）がぶっ  
ちぎりで征し面子を保った。上位常連  
が海外遠征や都合で参加していないが、  
このコースで2位の三浦裕司が1:43、  
3位の柴田達真が2:52も水を空けられ  
たのは雪上トレーニングの差だろう。

アドベンチャー系の選手を抑えてス  
キーO常連の羽鳥和重、高島和宏、山  
本賀彦が上位をキープしたのは鍛錬の  
成果と見た。

女子は、ミドル選考レースでコース  
プランナーを務めた酒井佳子が余裕で  
代表権を勝ち取った。2位にはこのと  
ころスキーOの調子を上げている元木友

子が順当に入った。

ルスツリゾートに勤務し、今やベテ  
ランとなった植野由香が会場しなかつ  
たのは残念。スキー技術抜群の成瀬美  
希はオリエンテリングの課題を克服  
することだ。その中で、スウェーデン  
合宿でスキー技術のコツを掴んだ高橋  
美和と出産後6ヶ月で代表に挑戦した  
白鳥桂子の信州大同期コンビがそれな  
りのタイムを出したのは収穫だ。

## ルスツスキーO大会成績

### スプリント男子 (WOC選考レース)

- 1 元木 悟 0:11:39
- 2 三浦 裕司 0:13:22
- 3 柴田 達真 0:14:31
- 4 羽鳥 和重 0:15:29
- 5 高島 和弘 0:16:08
- 6 山本 賀彦 0:16:13

### スプリント女子 (WOC選考レース)

- 1 酒井 佳子 0:13:50
- 2 元木 友子 0:15:32
- 3 高橋 美和 0:15:37
- 4 白鳥 桂子 0:17:14
- 5 大里 真理子 0:20:52

### スプリント カテゴリB

- 1 小阪 猛 0:13:30
- 2 渡辺 英男 0:19:28
- 3 有山知恵子 0:24:48

### スプリント カテゴリC

- 1 茅野 耕治 0:10:21
- 2 高原 進 0:12:17
- 3 黒田 幹朗 0:33:01

### ロング カテゴリA

- 1 三浦 裕司 1:37:12
- 2 元木 悟 1:37:23
- 3 酒井 佳子 1:39:15

### ロング カテゴリB

- 1 小阪 猛 1:44:33
- 2 加藤 将 2:00:57
- 3 有山知恵子 3:07:37

### ロング カテゴリC

- 1 茅野 耕治 1:36:16
- 2 高原 進 1:39:19
- 3 黒田 幹朗 2:53:45

## 参加者のコメント

小阪 猛 (東京OL、カテゴリC)

レース中は一生懸命になるわけでも  
なく、淡々と滑っていたのですが優勝  
する事ができました。激登り/下りには  
閉口しましたが、それ以外の箇所では  
とても楽しく滑る事ができました。  
今シーズンは闇トレ/コソ練の成果？

山本賀彦 (OLP兵庫、カテゴリA)

ロングは2枚のマップが終わった時  
点で、羽鳥が前に見え、後ろは佐藤、

美和、高島、白鳥等通過しました。前  
日負けた、羽鳥、美和、高島とは特に  
3枚完走したところで決着をつけたか  
ったところですが、超割を時間的にゆ  
とりのない岡山便でとってしまったの  
で、しかたがありません。予定どおり？  
2枚目で棄権し、12:10のバスに乗って、  
14:05千歳空港着。14:45の岡山行き  
にのり、17:30頃には家に着きました。

好材料がないので、また安比に行っ  
ても痛い目にあいそうですが、不完全  
燃焼なので、安比も参加したいと思っ  
ます。

足立 辰彦 (@迷走、カテゴリA)

すばらしく楽しく(スプリント)で辛  
いコース(ロング)を有難うございま  
した。とくにロングの三回の尾根登りは  
辛かったです。一回目は左から廻って  
行きましたが、ピステを滑れて登れる  
だけの体力が無く失敗しました。二回  
目以降は右からでモービルトラックは  
板外して走りましたが、心臓バクバク  
でした。

しかし、楽しかったですよ。完全に  
はまってしまいました。必ず来年も行  
きます。アドベンチャー系からも何名  
か連れて行きます。

## 運営者のコメント

山田健一 (北海道協会、計セン)

スキーOに関しては技術派とスピー  
ド派のレース展開が見ていてもなか  
な面白くあります。

今大会はアドベンチャー系の参加者  
が6名もおりました。アドベンチャー  
系の方々にとってスキーOというのが  
新鮮でとても面白く感じようです。

そのうち2名のE-card(Ver3)に  
アクティベート不完全と思われる不具  
合が露呈されました。本人達曰くア  
クティベートはしたとのこと。

低温気象化ではE-cardの寝起きが  
悪い？二度寝するのか？当日の気温  
はたぶん±0ぐらい。

特にアドベンチャーなどの異業種組  
には入念な説明が必要を感じました。

\*編者注

北欧の-10以下でもエミットカード  
は起動しています。アクティベートを確  
実に確認する事でトラブルは防げるで  
しょう。(余談ですが、編者の左手中指はラトビア  
の-20で凍傷になり、未だ完全起動し  
ていません)

## 安比ロングレース

4月2日、シーズンオフになった岩手県安比スキー場周辺でWOC 2007 代表を懸け、気温も上昇し腐れ雪の中、早朝の08:00からスタートが開始された。

MEに2年ぶりの丸山哲史がエントリーした。皆から本命と目されるが、挑戦するのはミドルとスプリントを征した元木、男児の誕生で代表の座を虎視眈々と狙っている宗形、ナビに課題を背負って地元の岩淵、今シーズンは毎週スキートレを積んだ羽鳥、シーズン2台目のNewスキーで臨む柴田、山田(一)はGPSを背負って、岡山から深夜バスで駆けつけた山本(賀)、初心者の三田、当日参加の幸山、ほやほやの中学生になったばかりの幸、来年はマスターズ70にエントリーする武石、老若多士済々が2分間隔で北西のNO1コントロール目指して飛び出して行った。

MEコースは13.5Km登距離465mウィニングは95分と設定されている。

結果は本命の丸山が元木に9分の差をつけてさらっていた。

WEは酒井の独壇場、腕の故障を押し秘かに代表を狙っていた大里は2コンでミスパンチし記録無しに終わった。

### ME成績

1	丸山哲史	館林 OLC	1:35:40
2	元木 悟	Team 白樺	1:44:40
3	内山孝博	OLP 兵庫	1:59:59
4	宗形竜憲	二本松 OLC	2:03:37
5	岩淵貴光	八幡平ト	2:11:52
6	幸山敏克	五所川原	2:12:39
7	山田一善	多摩 OL	2:14:34
8	羽鳥和重	川口 OLC	2:16:42
9	柴田達真	SKI-0 研	2:17:53
10	山本賀彦	OLP 兵庫	2:20:47
11	武石雄市	SKI-0 研	2:30:42
12	三田林太郎	3:35:28	
	渡辺 幸	P1	

### WE

1	酒井佳子	札幌脳学校	1:27:20
	大里真理子	P1	

### OA

1	茅野耕治	ワダラズ	1:42:53
2	高原進	SKI-0 研	1:49:34
3	荻田育徳	下野	2:12:55
4	黒田幹朗	水篋刈	2:16:04

## コメント

山田一善(多摩OL)

始めて滑るテラインにわくわくしていました。ペンション ミワの周辺でもスプリントだと十分に競技できて合宿には適しているようです。

早朝のスタートですが、早起きしてフットの大会に出る機会も多いので、問題は特にはありませんでした。11時前にはゴールして帰りまでゆったりと



安比ロング入賞者 左から2位元木悟、優勝丸山哲史、3位内山孝博

すごすことができました。今回も全日本に引き続き、GPSを背負ってコースを回ってみました。ばっちり軌跡が記録されています。1:25,000に落とすと結構広範囲を滑っていたのかと驚かされます。カシミール3Dで周辺を見ていたのですが、ペンションの下にある竜ヶ森もそそられます。現在のテラインでも部分だけでも森林部分をより使うことによって狭い範囲でも十分に大会はできそうですね。

個人的には登りががんばれなかったことなどが悔やまれます。

内山孝博

安比大会をもって、今シーズンのスキーO大会が終了。今シーズンは、国内で過去最多の4大会が開催され、非オリエント系アスリートの活躍、丸山選手の復帰など、ランキングも賑わってきた。非オリエント系男子では、ナビゲーションの進境著しい東井選手、三浦選手を凌ぐ実績を持つ

伊藤選手、トライアスロンで活躍する岩淵選手などが上位に絡んでいる。彼らは、強靱な体力とスキー技術を活かし、一部トップラップを叩き出すなど、潜在能力は非常に高く、ナビゲーション技術がもっと向上すれば、とても楽しい存在である。

迎え撃つオリエント系も、3年振りに復帰した丸山選手や、スキー技術急上昇中の羽鳥選手の活躍などがあり、いろんな種目の選手の参戦による、それぞれ得意とする競技能力を活かした、“スキーオリエンテーリング”という土俵での競い合いは、上位選手だけでなく、中堅選手含めて面白い展開になってきた。

一方、女子は、白鳥選手の復帰や元木選手の活躍が目立ったものの、残念ながら新しい顔ぶれがなく、少々寂しい。

# スキー-O ランキング

## 男子

ラ ン ク ン グ	上位2 レー ス ポ イ ン ト	カ テ ゴ リ	選 手 名	所 属	2005年					2006年					
					山形県民の森		磐 梯	ル ス ツ		磐 梯	山形県民の森		ル ス ツ		安 比
					A	A	B	A	A	B	A	A	A	A	A
					シ ョ ー ト	ロ ン グ	シ ョ ー ト	stage 1	stage 3	シ ョ ー ト	ス プ リ ット	ミ ニ ア ム	stage 1	stage 2	ロ ン グ
1	20	元木 悟	Team白樺				8	6	10	8	10	10	10	9	9
1	20	宗形 竜憲	二本松OLC		8	9	10	8	8	10	9	9			7
1	20	三浦 裕司	チームパッシュ		10	7						7	9	10	
4	19	幸山 敏克	青森県協会		9	10									5
4	19	山田 敦史	青葉会		7	8		10	9						
6	17	内山 孝博	OLP兵庫					9	7				4	8	8
7	15	羽鳥 和重	川口OLC				3			4	8	5	7	3	3
8	13	山本 賀彦	OLP兵庫		5	4	6	7	6			6	5	0	1
8	13	安達 利雄	山形県協会		6	1	4			1	7				
8	13	東井 透	チーム3in1								5	8			
11	11	小林 岳人	ES関東		2	2	5			6					
11	11	山田 一善			4	3		4	5		6	4	2	5	4
11	11	高島 和宏	Team白樺					5	4				6	2	
11	11	柴田 達真	OLP兵庫					3	3				8	0	2
11	11	岩渕 貴光	八幡平市トライアスロン協会		0	5					0	0			6
16	10	伊藤 吉昭											3	7	
16	10	丸山 哲史	館林OLC												10
18	9	日向 学	浅井学園大学スキー部		3	6									
18	9	遠山 敏幸	渋谷区役所							5	4	0			
20	8	成瀬 康也	チームパッシュ										2	6	
21	5	渡辺 瑞樹					2			3					
22	4	武石 雄市	日本スキー-O研究会					2	2						0
22	4	七宮 勝広	二本松OLC		1	0						3			
22	4	佐藤 文俊	札幌トライアスロンチーム										0	4	
25	2	木村 佳司	長野県協会				1	1	1						
25	2	塚田 聖次	牛込自転車倶楽部							2					
27	1	足立 辰彦	ハッピートレイルズ@迷走										0	1	

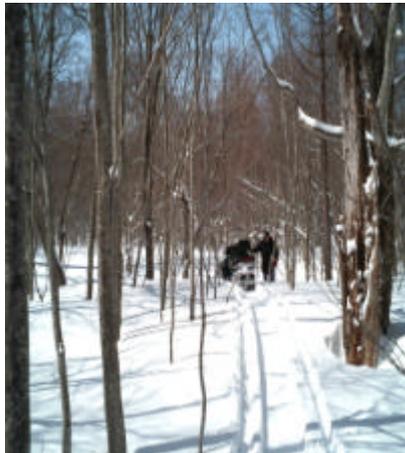
## 女子

1	20	酒井 佳子	札幌農学校				10	10	10	10			10	10	10
1	20	元木 友子	Team白樺	10			9			9	10	10	9	9	
3	19	植野 由香		9	10										
4	18	高橋 美和	水篋刈	8	9	8	9	9	8	8	9	8	7		
5	17	白鳥 桂子	水篋刈							9	8	7	8		
6	15	大里 真理子	Arc SKI-O CLUB	7	8	7				7	7	6	5	0	
7	6	成瀬 美希	チームパッシュ									0	6		

スキー-O ランキング制度についてはホームページ <http://www.skio.jp/> をご覧ください。



ルートを検討の酒井佳子と丸山哲史



モービルトラックの設置中



給水は雪上のペットボトル